

カンジダによるカテーテル関連血流感染症に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年11月4日～2022年12月31日

〔研究課題〕

カンジダによるカテーテル関連血流感染症の検討

〔研究目的〕

カンジダはカテーテル感染の原因菌として3番目に多く、敗血症を生じ、カテーテル関連血流感染症をきたすことがあるため、すみやかな治療が必要とされています。本研究ではカンジダによりカテーテル関連血流感染症を生じた患者さんの臨床背景を調査し、早期の診断に役立つ検査値を明らかにします。

〔研究意義〕

本研究をカンジダによるカテーテル関連血流感染症に早期診断、早期治療に役立てます。

〔対象・研究方法〕

2015年11月1日から2021年10月31日までの6年間で、中心静脈カテーテル検体からカンジダが分離された成人の入院患者さんを対象に、血清β-Dグルカン値、広域抗菌薬の投与歴などを調査します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属溝口病院第四内科

〔個人情報の取り扱い〕

匿名化し個人情報を保護します。研究終了後は臨床研究センターにて10年間保管の後に廃棄します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 菊池健太郎 准教授
研究分担者: 高井敦子 助手
所属: 帝京大学医学部附属溝口病院 第四内科学講座
住所: TEL:044-844-3333 (代表) [内線 3213]